

次期農林水産業元気再生戦略の構成(たたき台)

新農林水産業元気再生戦略の構成内容	次期農林水産業元気再生戦略における見直しの方向性
戦略名称 「新農林水産業元気再生戦略」	戦略名称 「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」
I 策定の趣旨(戦略1ページ)	I 策定の趣旨 ⇒ 全面改訂 ①農林水産業振興計画の実行計画としての位置づけを明記 ②米政策見直しへの対応、農林漁業者の所得増大、TPP への対応、森林ノミクス推進、豊かな海づくり大会を契機とした水産業振興等を明記
II 現行戦略の評価と課題(戦略2～9ページ) 1 戦略の推進体制 2 農林水産業を起点とする産出額の推移 3 分野ごとの評価と課題 (1)土地利用型作物、(2)園芸作物、(3)畜産、(4)林業、(5)水産業、 (6)6次産業化・流通販売・食育・地産地消	⇒ 参考資料扱いとして、以下のとおり再編し巻末に掲載 ①分野毎の評価と課題 ②数値目標の達成状況(基本目標及び分野毎数値目標)
III 基本的考え方(戦略10～15ページ) 1 共通目標 「豊かな地域を支える競争力の高い農林水産業の振興」 ①産出額 3,000 億円のさらなる拡大、②農業のトップランナー育成 ③多様な担い手による農林水産業の活性化 2 目標指標 ①農業産出額 米:1,000 億円、園芸:1,100 億円、畜産:500 億円 ②販売金額 1,000 万円以上の農家数 3,600 戸 ③地域の魅力づくりに取り組む産地数 44 件 ④学校給食の自給率(野菜) 40% ⑤全国育樹祭の開催、全国豊かな海づくり大会の開催 ⑥新規就農者数 300 人	II 基本的考え方 1 共通目標 ⇒これまで同様に共通目標を設定。推進会議等での意見を踏まえ検討。 ・ブランド化や生産性向上等により競争力が高い農林水産業経営を実現することで、若者が産業としての魅力を感じ、多様な農林水産業者一人ひとりが豊かさを実感できる農林水産業を目指していくことがイメージできるキャッチフレーズを検討 ・戦略全体の目標や方向性が理解され、関係者に共有されるよう、共通目標を具体的な数値で示すことも検討 2 目標指標 ⇒ ①「やまがた創生総合戦略」や「第3次山形県総合発展計画短期アクションプラン」との整合性を図りつつ、農林漁業者等の関係者等に対するメッセージ性の高い指標を設定 ②なお、可能な限り地域毎の目標値の設定を検討

新農林水産業元気再生戦略の構成内容	次期農林水産業元気再生戦略における見直しの方向性
<p>3 実施期間及び目標年 (1)実施期間 H25～H28 (2)目標年 H28</p> <p>4 基本戦略:5つの戦略 戦略1 競争力の高い農林漁業経営体の育成 戦略2 農林水産業を起点とする多様な経営展開 戦略3 県産農林水産物の流通・販売の促進 戦略4 農山漁村資源の積極的活用 戦略5 農林水産業を支える人材・基盤づくり</p>	<p>3 実施期間及び目標年 (1)実施期間 H29～H32 (2)目標年 H32</p> <p>4 基本戦略(案) 戦略1 担い手の育成・確保 戦略2 水田農業振興 戦略3 園芸振興 戦略4 6次産業化・流通販売 戦略5 畜産振興 戦略6 林業振興 戦略7 水産振興 ⇒ ・現行では、基本戦略が分野横断的なものになっているため、農林漁業者や関係者にとって、各々の関連分野の目指す方向性がわかりにくい面があったことから、<u>次期戦略では分野別に基本戦略を設定する</u>。なお、基本戦略の具体的な内容は、今後、検討する。</p>
<p>IV トップランナー育成・拡大に向けた営農類型と経営指標の活用(戦略 16 ページ) 1 営農類型と経営指標の作成 2 営農類型と経営指標の活用</p>	<p>⇒ 「VI 営農類型経営指標」の項目へ編入</p>
<p>V 推進体制(戦略 17 ページ) ○総合的な推進役として「農林水産業活性化推進本部」を設置 ○関係団体等と行政が一体となって推進するため、県域と地域段階に「農林水産業元気再生戦略推進会議」を設置 ○分野毎に4年間の工程に沿って、「重点プロジェクト」を県域と地域段階に設定 ○実施状況の評価などのフォローアップは、「山形県農業・農村政策審議会」で実施</p>	<p>III 推進体制 ⇒ ①「農林水産業元気再生戦略推進会議」の見直し ・フォローアップは農林水産業元気再生戦略推進会議で行うことに見直すこととする。 ・「推進会議」は県域段階に一本化するものの、地域の意見等の吸い上げや地域の進捗状況を評価・検証する会議等の設置を検討 ②次期戦略のプロジェクトは、基本的に地域PJを県域PJに統合することとするが、地域ならではの特徴あるプロジェクトは単独でプロジェクト化する。 ③なお、戦略の実施状況は、毎年度、「山形県農業・農村政策審議会」に報告する。</p>

新農林水産業元気再生戦略の構成内容	次期農林水産業元気再生戦略における見直しの方向性
<p>VI 分野ごとの取組方向(戦略 18～36 ページ)</p> <p>1 担い手・人材育成</p> <p>2 土地利用型作物 (1)米 (2)大豆・そば</p> <p>3 園芸作物 (1)果樹 (2)野菜・花き</p> <p>4 畜産 (1)担い手・生産基盤 (2)畜産加工</p> <p>5 環境農業</p> <p>6 6次産業化・流通販売・食育・地産地消 (1)6次産業化 (2)流通販売 (3)食育・地産地消</p> <p>7 生産基盤整備</p> <p>8 林業 (1)木材・合板・木質バイオマス (2)山菜・きのこ</p> <p>9 水産業 10 研究開発</p>	<p>IV 基本戦略の取組方向</p> <p>⇒ ・分野別の方向性を明示しているもので、農林漁業者や関係者が理解しやすい形式となっていることから、現行戦略を踏襲するものの、基本戦略を分野別に設定することから、「<u>基本戦略の取組方向</u>」に名称変更する。</p> <p>・戦略の実行性の高い推進を図るため、<u>各基本戦略毎に取組みの方向性と具体的な推進策となるプロジェクトを明記するとともに、各プロジェクト毎に数値目標を設定する。</u></p> <p>【基本戦略の取組方向の構成案】</p> <p>戦略1 担い手の育成・確保 ①人材の育成・確保 ②経営体育成 ③地域活性化</p> <p>戦略2 水田農業振興 ①土地利用型作物 ②生産基盤</p> <p>戦略3 園芸振興 ①果樹 ②野菜 ③花き</p> <p>戦略4 6次産業化・流通販売 ①6次産業化 ②流通販売・食文化発信 ③環境農業</p> <p>戦略5 畜産振興 ①畜産生産 ②耕畜連携・自給飼料</p> <p>戦略6 林業振興 ①木材生産・加工 ②木材利用 ③特用林産</p> <p>戦略7 水産振興 ①海面漁業 ②内水面漁業</p>
<p>VII 営農類型経営指標一覧(戦略 37～43 ページ)</p>	<p>⇒ 「VI 営農類型経営指標」の項目へ編入</p>
<p>VIII 分野別取組工程(県域・地域重点プロジェクトの記載含む)(戦略 45～72 ページ)</p>	<p>V 基本戦略別取組工程(名称変更)</p> <p>⇒ 「基本戦略別取組工程」とし、基本戦略毎に施策とプロジェクトを整理したわかりやすい工程表に見直す。</p>

新農林水産業元気再生戦略の構成内容	次期農林水産業元気再生戦略における見直しの方向性
	<p>VI 営農類型経営指標</p> <p>⇒ 現行戦略の「IV トップランナー育成・拡大に向けた営農類型と経営指標の活用」、「VII 営農類型経営指標一覧」を含めて記載</p> <p>① <u>米政策の見直しや米価の動向等を踏まえた新たな経営指標へ見直すこととする。</u></p> <p>② <u>これまでの他産業並みの所得(年間400万円)を確保できるを目指した経営指標に加え、より経営力と生産力の高いスーパートップランナー(法人含む)をイメージした経営指標を新たに作成する。</u></p> <p>※なお、地域の農業振興の方向や特性を踏まえ、4地域毎の営農類型を検討していく。</p>
	<p>【参考資料】 現行戦略の評価と課題</p> <p>⇒ ①分野毎の評価と課題</p> <p>②数値目標の達成状況(基本目標及び分野毎数値目標)</p>